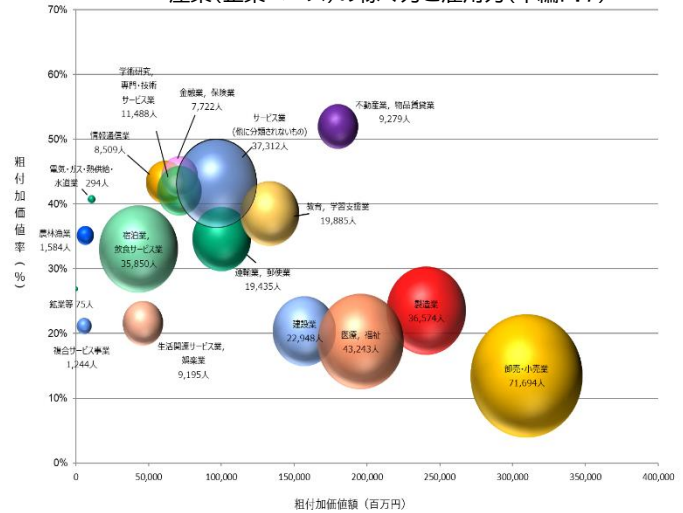


岡山市産業振興アクションプランの概要

現 状

- 市内総生産➢増加率(H23→R3)6.8%、政令市3位
- 民間投資➢増加率(H23→R3)15.4%、政令市2位
- 市内総生産の構成内容➢政令市平均と比較すると、二次産業の割合が高い
- 労働生産性➢R2年:464万円/人、政令市16位(政令市平均543万円/人)
- スタートアップ創出数➢R6年度末時点:50社
- 有効求人倍率➢R6年:全国1.25倍に対し、岡山市1.38倍で全国を上回る
- 後継者不在率➢R6年:61.6%で年々上昇
- 商店街の歩行者通行量➢増加率(H26年3月→R7年3月)は約20~40%
- 企業立地の状況➢H25~R6の実績は、誘致件数122件、投資額1,347億円

産業(企業ベース)の稼ぐ力と雇用力(本編P.7)



産業の強み

- 市内産業の拡大
- 第3次産業中心の産業構造
- 卸売・小売業の集積と規模の大きさ
- 製造業の安定した基盤
- 医療・福祉分野の充実と雇用の吸収力
- スタートアップ創出数の増加
- 特色のある商店街
- 広域拠点性

産業の弱み

- 主要産業(卸売・小売業、製造業、医療・福祉)の付加価値率の低さ
- 情報通信業の規模の小ささ
- 労働生産性の低さ
- 労働力不足

環境変化

- 人口減少による経済規模の縮小と労働力不足の進行
- 物価や賃金の上昇
- デジタルテクノロジーの利活用
- 世界経済の不確実性の高まり

課 題

- スタートアップ等の裾野拡大や事業成長に向けた支援、資金調達環境の整備等の促進
- 新規事業の創出や新分野への挑戦を通じた地域の稼ぐ力の向上
- デジタル化や省人化・省力化に向けた設備投資等による生産性向上をはじめ、コスト削減や新たなサービス展開などを通じた事業活動の高付加価値化
- 事業環境の変化に対応していくための経営基盤の強化。円滑な事業承継に向けた環境整備
- 好機をとらえた商店街の更なる魅力向上
- 広域拠点性を活かしたさらなる企業立地の推進

施策の方向性

戦略		主な事業内容
1	地域経済を牽引するスタートアップの創出・成長支援	■スタートアップ支援事業
2	新規事業の創出や新分野への挑戦による競争力強化の促進	■新規事業創出支援事業 ■設備投資支援事業 ■特定創業支援等事業
3	高付加価値化に向けた事業活動の支援	■設備投資支援事業(再掲) ■デジタル化推進事業 ■販路開拓支援事業
4	事業環境の変化に対応できる経営基盤の強化	■円滑な事業承継の環境づくり ■経営安定化に向けた支援事業 ■雇用対策等事業
5	地域の活力を高める商業振興と商店街活性化の推進	■商業振興・商店街活性化事業
6	製造工場、物流施設等の立地推進及び市内企業の拠点・機能強化	■企業立地推進事業